

議会の取り組みをお知らせする情報誌

すず市議会だより

No.2

平成 28 年  
12 月 1 日発行

# 市議会 だより

珠洲の海に  
長浜の浦に

朝開きして  
月照りにけり

朝開きして

漕ぎ来れば

大伴家持

# 平成28年度第3回9月定例会



## 13件を原案のとおり、 全会一致で可決

一般会計、特別会計、病院事業会計の補正予算が7件、辺地総合計画の変更1件、市道の路線認定、変更がそれぞれ1件、財産の取得1件、人事案件の2件、あわせて合計13件が市長から提案されました。

珠洲市固定資産評価審査委員会委員として岩坂敦子さんを選任(再任)、珠洲市教育委員会委員として兵頭恵子さんを任命(再任)することに同意しました。他の議案については、各常任委員会で審査され、全て原案のとおり、全会一致で可決しました。

## 政務調査費の不適切な計上についてのお詫び

この度、平成23・24年度の「政務調査費(現在は政務活動費)」において一部の議員による不適切な計上があったことが判明いたしました。

市民の皆さまには多大なご迷惑をおかけし、信頼を損ねましたことに対して深くお詫び申し上げます。

議会といたしましては、10月26日に議員全員協議会を開催し、事実確認をするとともに、早急に制度の見直しをする必要があることを全会一致で確認し、同日、「政務活動費あり方検討会」を設置いたしました。

今後は、政務活動費の使い方に対する透明性を高めるために使途基準の明確化を図り、市民の皆さまからの信頼回復と再発防止に向けて議員一丸となって取り組んでまいります。

珠洲市議会議長 大兼政忠男

## 今後の対応について

### ■政務活動費あり方検討会を開催

11月7日、21日に「政務活動費あり方検討会」を開催し、下記の点について協議を行いました。

- 政務活動費の使途基準を明確化
- 政務活動費の支給方法の見直し
- 収支報告書や領収書の公開

今後は条例改正やマニュアルの作成に取り組んでいくこととしており、詳細は決まり次第、改めて市民の皆さまに報告します。

## 「奨学金制度の充実等を求める意見書」を全会一致で可決

大学の学費高騰と雇用環境の悪化による家計収入の低下により、奨学金制度利用者が増加する一方、就職難や非正規労働の増加など、奨学金の返済金延滞者の増加も問題になっていきます。

そのため、家庭の経済状況に関わらず進学し、安心して学業に専念できる環境を整えるための意見書を全会一致で可決し、内閣総理大臣、衆参両院議長など国の関係機関に提出しました。

提出者 森井洋光議員

北陸新幹線金沢開業2年目の夏の観光シーズンを終え、珠洲の入りこみ客数は概ね昨年並みを確保していますが、来年以降に向けた観光誘客の充実、特に奥能登国際芸術祭への対応が重要な課題となっています。また、依然として深刻なイノシシ被害にクマの出没情報も加わり、獣類対策も引き続き重要です。この他、2回続いた国政選挙での投票用紙交付ミスを受けての再発防止策、新図書館建設と総合病院の駐車場整備をめぐる課題など、一般質問、委員会審議を通じて活発な議論が展開されました。

詳細については広報すず10月号をご覧ください。

# 9月定例会 一般質問

## 一般質問に9人が登壇 奥能登国際芸術祭や獣類対策など市政全般を問う

9月13日、本会議では9氏が一般質問に登壇しました。各議員の主な質問と答弁の要旨を紹介します（質問順に掲載しています）。

※一般質問とは、議員が市長などに対し、市の政策や各事業などについて、その方針や実施状況を問うことです。

### 認知症 対策について

Q 認知症は、高血圧や糖尿病などの生活習慣病がリ

スクを高めている。認知症を患うと、家族の身体的、精神的、経済的にも負担が大きくなるので、軽度認知症段階での早期発見が大切である。今後の地域社会の形成を考えると早急な予防対策が必要だ。

A 本市の認知症の方は約1,000人、MCI（軽度認知障害者）が900人。糖尿病を患うと認知症になる確率が4・6倍になるとの説もあり、糖尿病予防策とあわせて市総合病院や開業医、行政が連携し取り組む。（泉谷市長）

### 市民後見人の育成について

Q これまで家庭裁判所が選任する「法定後見人」が老後のお金や不動産の管理責任を負ってきた。近年、市民後見人の養成講座を各自自治体で開設できることになった。判断能力を失った人が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう見守りながら支援できる市民後見人の養成講座を開設せよ。

A 本市では地域包括支援センターが窓口となり、相談や家庭裁判所への情報支援を行っている。市民後見人は他人の財産管理を行う重い責任があり、質の担保や要請後の監督体制など課題が多い。市単独より広域や法人での養成講座が適任だと考える。（泉谷市長）



向山 忠秀 議員

### 市文化財の天然記念物に 指定された見附島について

Q 見附島最上部の植生が鳥類のフン害による枯死や、珪藻土のため、崩れやすく今後の保全が心配である。見附島を市の宝としてだけでなく、奥能登の宝に、さらには県の宝、つまり県指定の文化財となるよう県当局へ働きかけるべきではないか。

A 本市の観光シンボルである見附島が石川県の指定を受けることができれば、文化財として一層の価値や注目が高まる。本市の宝として先人たちが誇りとし、大切にしてきた見附島を後世に残していくためにも、県の文化財に指定されるよう働きかける。（鍛冶教育委員会事務局長）

### 宝立七タキリコまつりについて

Q 市から珠洲まつり特別委員会への負担金は、ほとんど広告宣伝費である。宝立七タキリコ祭りのさらなる充実をはかり継続していくためにもぜひ、珠洲まつりへの支援を拡大すべきではないか。

A 珠洲まつりは、珠洲の夏を彩るイベントとして定着している。宝立七タキリコまつりは地域の皆さまのご努力により、栈敷席の設置や花火とキリコの海中乱舞の競演が呼び物となっている。50



寺井 秀樹 議員

回目の節目となる来年に向け、特別委員会と連携しながら支援する。（泉谷市長）

RDF施設閉鎖に伴う奥能登クリーン組合の可燃ごみ対応は

Q 志賀町の石川北部RDFセ



中板 秀一郎 議員

ンターが平成35年3月に閉鎖されることが決まった。今、わかる範囲で対応策を明らかにせよ。

A 近年は小規模焼却炉においてもダイオキシン類の排出抑制技術が向上していることや直接焼却の方が処理費用を抑えられ処理対象ごみの拡大が期待できる。奥能登クリーンセンター構内に平成34年度を目前に新たに日量30トン規模の焼却施設を建設する予定である。50億円程度の事業費が見込まれるが、できるだけ有利な財源の確保に努め、地元負担金は能登町と按分することになる。(泉谷市長)

奥能登国際芸術祭に向けて

Wi-Fi接続環境の整備を急げ

Q 奥能登国際芸術祭に來られるお客様のおもてなしの一つにぜひとも、Wi-Fi環境整備もスケジュールに入れていただきたい。

A 來訪される方々への利便性向上につながるようWi-Fiなどインターネット接続環境の整備に具体的に取り組みを進めていきたいと考えている。(金田奥能登国際芸術祭開催準備室長)

〈その他の質問〉

- ・ 捕獲されたイノシシの活用について
- ・ 珠洲市民の歌の集団体操について
- ・ 投票率の低下に伴う今後の対策について
- ・ クレジットカード決済の環境整備について

障害者差別解消法施行対応について

Q ①4月1日より「障害者差別解消法」が施行された。市は職員が適切に対応するため、「対応要領」を作成し、これを公表するよう努めなければならぬとされているが、現状と経過はどうか。

②障害者が差別を受けた場合の相談や紛争解決に応じる相談窓口は、福祉課となっているが、市民への周知を図るべきではないか。

③「障害者基本法」においては、手話が言語であると明記された。現在奥能登2市2町の広域設置で手話通訳士が配置され、福祉課では手話奉仕員養成講座を開催し、手話の普及に努められているが、市として専属の手話通訳士を配置する考えはあるか。

A ①職員対応要領は4月に作成し、研修など様々な機会を通じて、職員への周知啓発を行っている。

②障害者差別解消法の趣旨や相談窓口については、今後、市の広報やホームページを活用し周知に努める。

③手話通訳士の確保については、奥能登2市2町の共同設置を維持しながら、石川県聴覚障害者協会等含め関係者間で協議していく。(泉谷市長)



濱野 隆三 議員

〈その他の質問〉

- ・ コミュニケーション支援ボードについて

獣害対策に注意喚起の徹底を

Q 珠洲市有害鳥獣対策事業費で359万7千円を増額補正しているが、今年度は全部で何頭位捕獲する計画になるのか。今後も捕獲数が増加することが予想されるが、有害鳥獣捕獲報奨金を今後も減額しないよう要望する。農地を守るための新たな対策や生息数を減らすための具体的な考えを問う。



番匠 雅典 議員

A イノシシの捕獲計画については、今年度100頭を計画していたが、すでに8月末時点で141頭となっている。個体数を減少させるためには電気柵で農地への侵入を防ぎ、その周辺に設置した捕獲檻に誘導する組み合わせが最も有効な対策であると考えている。(下産業振興課長)

Q 能登町で多くのクマの目撃情報と痕跡情報があり、石川県ではクマの生息北限を能登町に修正した。9月はマツタケやコケ類の時期でもあり、珠洲市民の方はコケ類を採りに多くの方が山に入る。能登町とも隣接している地区が多くあるので、注意喚起や対処方法などの周知徹底すべきではないか。

A 今後、警察及びび猟友会等の関係機関と捕獲体制の整備を進め、クマの生息が確認された場合は、防災無線やチラシ等での注意喚起を図る。(下産業振興課長)

〈その他の質問〉・花き栽培センターについて

要支援者保護の体制について

**Q** 9月定例会の提案説明で、「珠洲市災害時避難行動要支援者登録制度」を今年度新たに設けたことについて、情報提供の同意がない要支援者に対し、災害時にどのようにして対応するのか。

**A** 現行の災害対策基本法では、名簿情報を事前に消防機関、警察等へ提供する場合は本人の同意が必要となるが、災害時には本人の同意を得ることなく関係機関へ情報提供ができることから、対象となる1,358名全員の情報を提供することとしている。(泉谷市長)

奥能登国際芸術祭の現状と

観光施設の結びつきについて

**Q** 来年度開催される奥能登国際芸術祭と観光施策をどのように結びつけているのか。

**A** 奥能登国際芸術祭については、国内や海外から9名のアーティストが訪れ、創作に向けて現地調査を行っている。また、観光情報の集約と発信、来訪者の移動手段の整備、おもてなし力の向上や案内人の育成、案内看板の設置など、さらなる整備や充実に向け、関係機関と連携・協力を図りながら、取り組んでいきたい。(泉谷市長)



三益 三千三 議員

教職員の多忙化  
解消は国、教委、  
学校の責務だ

**Q** 文部科学省は今年6月、学校が抱える課題が膨らみ「教職員は多忙を極めている状況」で改革は待たなし、「長時間労働の是正を図ることが不可欠」とする報告書をまとめた。多忙化は教職員の働き方や意識に原因があるとしてきた従来の市教委の見解と異なる。教育長はこの報告書の基本的認識を共有できるか。



北野 進 議員

**A** 報告書で示された基本的な考え方は、私も当然のことと認識している。(多田教育長)

法令遵守で勤務時間の把握を

**Q** 改革の大前提は教職員の勤務時間の実態を把握すること。労働安全衛生法は管理職による労働日ごとの始業、終業時刻の確認、記録などを求めているが守られていない。今後の対応を聞く。

**A** 昨年度から全教職員に退校時刻を記録させており、今後も勤務実態を的確に把握していきたい。(多田教育長)

各学校にICT支援員の配置を

**Q** 授業でのICT機器の活用や業務改善にICT支援員の果たす役割は大きい。

**A** 研修の実施でスキルアップを図っている。負担減の観点からはICT支援員も必要だが、特別支援教育の支援員を配置している点も考慮すべきだ。(多田教育長) ※ICT＝情報通信技術

新図書館について

**Q** ①使っていない建物が多数あるので新たな建物にお金をかけず本やパソコンの数を増やしたり中身にお金をかけるべきだと思うが、建設費及び年間維持管理費の総額はいくらか。

②病院の既存駐車場をわざわざ壊して新図書館建設によって病院の駐車場が不足するのは、いつ分かったのか。

**A** ①建設費は土地購入費及び図書館システムを除き約10億円を見込んでいる。維持管理費は実施設計や人員の配置計画に着手していない段階でお答えできる状況にはない。

②3回にわたり議論を重ね現在の病院駐車場の一部を廃止することとなるが既存の駐車場の拡張や新たな駐車場の整備などで減少分を補いたい。(泉谷市長)

珠洲市の水道料金の値下げを考えては

**Q** 調べてみると口径20mmのメーターを使用し一般家庭で1ヶ月20mの水を使用した場合、全国1,146市の中で高い方から全国で35位ぐらいで、北陸・甲信越地域では一番高い珠洲市だが、せめて輪島市と同じぐらいの料金に下げることができるか。

**A** 現在のところ平成33年度までは料金を上げる必要はないものと考えている。(塩井生 活環境課長)



濱田 隆伸 議員

国民健康保険  
基金について

Q 珠洲市国民健康保険事業基金条例には、「国保事業の健全な運営に資



米田 幸助 議員

するため、国保基金を設置する」となっており、その国保事業内容が書かれた条例では、あくまでも被保険者に対して活用するものとしている。市長は議会において、「市民の健康寿命を延ばすため国保基金を活用することとした」と発言されているが、条例をみると、基金が被保険者以外に使われることを許していないように見え、被保険者以外が利用する場合は、別に定める必要があるように読み取れる。現在執行している事業はどのよう

A 国保加入者世帯の割合が約45%なので取り組みの半額を国保基金から、半分を一般財源から負担することにした。(泉谷市長)

Q 国保加入者も市民であり、半分を国保基金から出し半分を一般財源からというのは国保加入者が市民では無いかのような意味で伝わるのではないか。また、条例に違反していないのか。

A 国保基金活用に関しては問題は無いものと認識している。(泉谷市長)

〈その他の質問〉・市職員のボランティア及び動員について・漁業用燃油価格支援事業補助金について・空き家対策について・公衆無線LAN環境の整備について・投票所運営の改善策について・「特別教科 道徳」について・鳥獣対策について

〈関連質問〉・新図書館の駐車場整備について

あの質問、あの答弁はどうなった  
—— ふるさと納税を巡って ——



質問

中板議員

- 新しくスタートしたふるさと納税の考え方を聞く (平成20年6月)
- 6月議会で返礼品の充実を検討するとの答弁だったが、その後の検討状況を聞く (平成27年3月)
- 返礼品の選定、今後の運営方針を聞く (平成27年12月)

米田議員

- ふるさと納税に選べる使い道、特典、手続きの簡素化の工夫を (平成24年12月)

北野議員

- ふるさと納税の将来展望を聞く (平成27年9月)

市長答弁 (一部抜粋)

平成27年度までは「珠洲市のカレンダー」と「広報すず」を返礼品としていたが、平成28年度からは、返礼品メニューを充実させ、ふるさと納税カタログを作成した。

また、寄附の申し込みからクレジット決済までの手順が簡単に行える、ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」経由での納入方法で、支援を募り周知している。

ふるさと納税の実績 (平成28年10月31日現在)

平成27年	件数 84件 金額 612万1,680円	→	平成28年	件数 908件 金額 2,244万円
-------	-------------------------	---	-------	-----------------------

納税金額  
前年比  
約4倍

屋内型一般廃棄物処分場を視察

7月27日、全議員と泉谷市長が富山県黒部市の最終処分場を視察市では、屋内型の一般廃棄物最終処分場の建設を予定しています。市の建設予定地は住宅地に近いことから、条件が似ている富山県黒部市の宮沢清掃センター最終処分場を全議員と泉谷市長が視察しました。施設内は屋根付きの閉鎖空間となっており、雨や風、雪など天候による影響が無く埋立作業がスムーズに行うことができます。浸出水の発生量も少なく、外部への埋立物の飛散や臭気の漏れ、鳥獣類の侵入を防止し、安全性や景観への配慮した施設となりました。



富山県黒部市にある宮沢清掃センター最終処分場

# 総務常任委員会の主な報告



光昭 一郎 進三  
洋敏 秀 隆  
井坂 板野 濱  
森赤 中北  
委員長  
委員  
委副委

付託案件： 議案 4件  
報告 1件

## 問

今年度購入する鵜飼分団のポンプ車はA T車か。来年度以降の更新予定も聞く。

## 答

分団の意向を聞いた上で決定しており、鵜飼分団はA T車である。来年度は消防署の車両を入れ替え、2年後は三崎分団のポンプ車を予定している。

## 問

官学共同研究事業費100万円は芸術祭に関わる金沢美大と連携した調査事業のことだがその内容を聞く。

## 答

金沢美大は来年の芸術祭では上黒丸地区とともに飯田町でも独自に予算を確保し、作品制作に取り組む意向である。今回の予算は作品制作の前に活用を計画している八木さん宅や飯田町の歴史などを調査するためのもので、金沢大学と珠洲市で100万円ずつ負担することとする。

## 問

後期高齢者医療特別会計について、今回、人間ドック検査費用助成費が計上され、通常の間ドック10名、脳ドック20名、併用10名を見込むことだが、半年で消化できるのか。

## 答

従来は国保加入者のみが対象だったが新たに後期高齢者も対象とした。財源は広域連

合からの交付金である。国保のドックは人気があり病院の受け入れ枠の課題はあるが、年度末には空きもあるのでぜひ受診していただきたい。

この他、7月に執行された参議院議員通常選挙での投票用紙交付ミスを巡っては、投票所の職員体制や投票用紙の渡し方、チェックリスト、ダブルチェック体制、さらには職員の資質の向上も含め、再発防止に向けて全委員から多岐にわたって質問や提言がありました。

## 総務常任委員会視察報告

総務常任委員会は5月31日～6月2日の日程で、北海道芽室町、帯広市、東京都千代田区の行政視察を行いました。

### 議会改革(北海道芽室町)

芽室町議会では、平成24年度より「住民に開かれ、分かりやすく、活動する議会」をスローガンに掲げ議会改革を進めている。主な改革内容は、議会活性化計画の作成、議会基本条例の策定、通年議会制の導入、議会モニター・議会改革諮問会議の設置、外部有識者による議会サポーター制の導入、議会報告会と住民との意見交換会の開催など。特に、会議数の多さが際立っており、全ての会議・委員会を含めると、毎年160回以上開催されている。専決処分はほとんどなく原案否決もある。今後、各改革制度の内容を検討し、有効な制度は、早期に取り入れる必要があると感じた。

### 高齢者おでかけサポートバス事業(北海道帯広市)

平成24年度より申請のあった70歳以上の高齢者

に、市内路線バスで使用できる「バス無料乗車証」を交付している。これにより路線バス利用者数は平成26年までの3年間で1・2倍に増加し、乗合タクシーやバスの利用者数も増えている。外出の目的は、通院や買い物、外食などで、高齢者の生活基盤となっている。本市においても、高齢者へのバス無料化は有効な施策の一つと思われるが、路線バス事業が縮小傾向にあるなか、スクールバスも活用した市営バス路線・ダイヤの充実と、公共交通機関空白地帯は「のりたく」や「一般の人が有償送迎するライドシェア」を含めた総合的な交通体制の見直しが急務である。

### アーツ千代田3331(東京都千代田区)

千代田区文化芸術プランの重点プロジェクトとして、文化的・歴史的に貴重な財産の情報発信と、人々の様々な自己表現の場や交流の場を目的として設置された。施設は廃校舎を改造し、ほぼ元の教室単位で、ギャラリー、アトリエ、スタジオ、カフェなどが入り、民間団体が運営している。各行事に応じた施設の改修も自由。また、区民会議室が設けられ、体育館は時間を区分し区民に開放されている。本市でも、奥能登国際芸術祭に活用できる伝統文化と現代芸術の拠点施設が必要であると感じた。



# 教育民生常任委員会の主な報告



樹男 助典 秀忠 幸雅 井兼 政匠 寺大 米番 委員長 委員 委員 委副委

付託案件：議案 4件

**問** 新図書館建設に伴い、総合病院の代替駐車場の整備が予定されているが、全体的に経費がかかり過ぎではないか。病院の正面玄関付近の一角を中心に整備することはできないか。

**答** 経費については、既存部分の改修も含まれている。正面玄関付近の整備については、癒やし空間としての必要性や、中央ロビーに面しているため、患者さんに圧迫感を与えることなどを考慮して、現在の建設予定地となった。

**問** ふれあい入浴事業を高齢者の方々が利用していないという話をよく聞かすが、どのくらいの年間利用件数を見込んでいるのか。また、どのように利用件数を把握しているのか。

**答** ふれあい入浴は、高齢者福祉のために行っている事業であり、市内の65歳以上のすべての方に配付している。利用者は、当初8%の利用件数を見込んでいたが、8月末現在で3,496件(4・75%)となっている。チケットは名前入りとなっており、件数は半券で把握している。

**問** 文化財保護の観点から平時忠の墓所におけるイノシシ対策は補正予算で対応できないのか。

**答** 次年度当初予算に計上することで県補助を見込む。

**問** 市営グラウンドと野球場の間のネットが老朽化しているので、修繕できないか。

**答** 来年度の予算要望時に学校長にヒアリングを行う。

## 教育民生常任委員会視察報告

9月27日～29日にかけて大分県別府市と竹田市で行政視察を行いました。

### 東山幼小中学校12年間一貫教育(大分県別府市)

別府市では、幼・小・中一貫教育学校での取り組みについて研修を受けた。東山幼稚園・小学校・中学校は、山間地域における少子高齢化が急速に進展する中で、校区での児童生徒は14名しかないものの、小規模特認校制度(市内の他地域から指定校の趣旨と目的を理解し認められた児童生徒が通学できる制度)を利用し35名の在校生がいる。この学校は、あえて各学年の定員を8名程度として、複式学級でのきめの細かい指導を行っている。小・中学校の先生による相互乗り入れや、縦割りの子供集団による学習の構想と実施を行い、表現活動・健康活動・体験活動に重点を置き取り組まれている。小規模校



でのマイナスの部分に悲観するのではなく、プラスの部分に十分に伸ばすことにより学力や体力・精神を強化し、その先の競争社会に負けない児童・生徒を育てられていると感じた。珠洲市においても保育所の老朽化や高齢化が進む地区での児童生徒の減少があり、別府市のようなソフト面での柔軟な対応も必要と感じた。

### 温泉療養保健制度(大分県竹田市)

竹田市では、昔から湯治文化があり、その観光資源を最大限有効活用した観光振興と予防医療について研修を受けた。湯治は長期間滞在し温泉を利用することから、温泉療養保健制度として、半年間の間に3日以上宿泊された方や1日に立ち寄り入浴を2ヶ所以上された方に給付金を支給している。その財源は入湯税を原資としており、昨年度の利用客数は763名、毎年の給付は200万円余りとなっている。また、慶應義塾大学と日本健康開発財団の産学官連携による調査により、長湯温泉の温泉水を飲泉すると糖尿病の予防・改善効果を有する可能性が判明した。北海道豊富町と秋田県仙北市との広域連携による温泉力地域協力協定を結び、温泉利用型健康増進エリアの整備や温泉効能の医学的調査蓄積、湯中運動プログラムの開発と普及により、医療費控除の該当を目指し、地元住民の健康年齢の伸長と医療費の削減にも取り組まれている。珠洲市においても元気の湯を中心としたゲンキ食堂などを利用した同様の取り組みが行われており、これらと合わせスポーツや歴史文化の融合などによる観光振興もできるのではないかと感じた。



# 産業建設常任委員会の主な報告



男秀夫三仲  
辰忠良千隆  
泊山野三  
小向上三濱  
委員長  
委員  
委員  
委員  
委員長

付託案件：議案 5件

## 問

企業説明会に参加する企業の選定方法は。

## 答

企業の選定方法は、「珠洲おしごとナビ」に登録した企業に参加を依頼し、現在12社から参加の意向をいただいている。登録していない企業から参加条件についての問い合わせがあり、「珠洲おしごとナビ」に登録していただいた実績もある。

## 問

遊歩道整備の工事概要と工事費、経緯について聞かせてほしい。

## 答

馬縹町にある大崎塾から、山の方へ登り橋の群生地を通過して市道へ抜けるコースで、延長約120m、幅が2mの遊歩道を整備する。工事費は約700万円で、測量、設計を含めると約1,000万円となる。

毎年3月に珠洲椿フェスティバルを開催しており、今回、全国大会が野々市市で開催され、その関連で珠洲市でも椿の鑑賞会を予定している。珠洲椿フェスティバルは約20年間続けられた実績もあり、土地の提供や維持管理面で地元との協力も得られたことから敷椿を鑑賞する遊歩道を整備する。

## 問

珠洲焼振興事業費の内容とは。また今後も引き続き備前焼と交流する予定なのか。

## 答

8月に備前市で珠洲焼の交流展や視察を行い、12月には珠洲焼館で備前焼の交流展を開催する予定である。珠洲焼の技術向上のため、今後も技術交流を深めたい。

## 産業建設常任委員会視察報告

6月6日～8日の日程で、神奈川県鎌倉市、宮崎県都市で行政視察を行いました。

### 歴史まちづくりの取り組み(神奈川県鎌倉市)

日本遺産は全国で、平成27年度は18件、28年度は鎌倉を含む19件のストーリーが認定されている。日本遺産として認定するストーリーには、①単一の市町村内でストーリーが完結する「地域型」、②複数の市町村にまたがってストーリーが開発される「シリアル型(ネットワーク型)」の2種類があり、今回は①の地域型に該当する鎌倉市の取り組みについて視察した。鎌倉市では、平成4年にユネスコ世界文化遺産暫定リストに記載され、平成24年にユネスコへ申請するが、平成25年にイコモス勧告で「不記載」となり、推薦が取り下げられることとなった。原因は武家政権及び政権都市などを示す物的証拠不足で、社寺個々の文化遺産と国内外の文化財との比較研究に基づく説明が不足と判断された。その後、鎌倉文化遺産の個々の要素と国内外の類似資産を詳細に比較し、相違点を明確にして、文化遺産の価値を浮き彫りにしたことにより、高い評価を得ることができた。日本

遺産に認定された「能登のキリコ祭り」も、個々の祭りの由来や歴史・文化的な要素を検証して価値観を高め、他の2市3町と連携を深めて日本遺産を地域活性化のために、積極的に活用展開していく必要性を感じた。

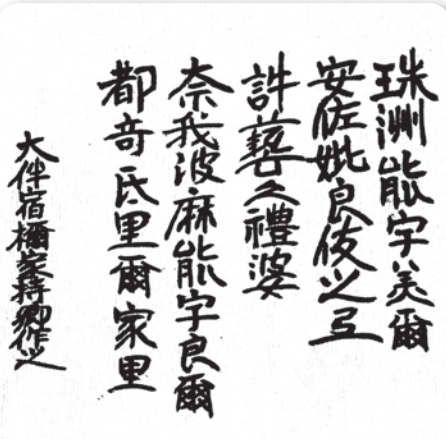
### 屋内型最終埋立処分場(宮崎県都市)

本市では、昭和58年から供用開始した埋立処分場の残余埋立可能量が残り8年分となり、新しく屋内型処分場を計画している。建設予定地は住宅地に近いことから、条件が似ている宮崎県都市の高崎一般廃棄物最終処分場を視察した。被覆型処分場は、浸出水削減や埋立物の飛散や騒音、臭気による周辺環境への悪影響を防ぎ、カラスや害虫の発生を防止し、天候による影響が無く埋立作業をすることができる。また、最終処分場の跡地利用は、公園、スポーツ施設、太陽光発電所などの再生可能エネルギー事業にも利用できる。高崎一般廃棄物最終処分場の近隣には、住宅街があり、供用を開始してから今まで、住民から特に苦情はないとのことであった。現地でも騒音や異臭、粉じん、害虫などを確認することはなく、生活環境への影響の軽減や、従来の埋立地に比べ、クリーンなイメージを感じた。



主な議会の動き

月	日	事項	
9	6	議会運営委員会、議員全員協議会	
	//	平成28年度第3回珠洲市議会9月定例会【開会】	
	8	議会運営委員会	
	13	平成28年度第3回珠洲市議会9月定例会【質疑・一般質問】	
	//	決算審査特別委員会	
	14	平成28年度第3回珠洲市議会9月定例会【常任委員会】	
	16	議会運営委員会、議員全員協議会	
	//	平成28年度第3回珠洲市議会9月定例会【閉会】	
	27	教育民生常任委員会行政視察（～29日）【大分県】	
	10	3	議会改革特別委員会
		4	防災対策特別委員会
6		決算審査特別委員会	
7		決算審査特別委員会	
11		決算審査特別委員会	
19		第11回全国市議会議長会研究フォーラム in 静岡（～20日）【静岡県】	
24		議会運営委員会研修視察（～25日）【神奈川県】	
26		議員全員協議会	
11		1	地域振興特別委員会
	6	関西珠洲会【大阪府】	
	7	議員全員協議会	
	//	政務活動費あり方検討会	
	10	第40回能登五市議会議長会議員研修【輪島市】	
	14	石川県市議会議長会知事要望【金沢市】	
	18	全国過疎地域自立促進連盟理事会及び定期総会【東京都】	
	//	東京珠洲会【東京都】	
	19	東海珠洲会【愛知県】	
	21	政務活動費あり方検討会	
25	議会改革特別委員会		



珠洲能登宇美爾  
安佐妣良俊之豆  
許暮之禮婆  
奈我波麻能宇良爾  
都奇氏里爾家里

養老2年（718年）、越前国から独立した能登の国。この時期、越中国の国司として赴任していたのが万葉歌人を代表する大伴家持でした。美しい自然やそこに生きる人々の暮らしぶりが、能登を巡る家持の目に留まり、数多くの歌が詠まれ、今日まで伝えられてきました。改めて、先人たちの視線に想いを馳せながら、今回は春日神社境内にある家持の歌碑を紹介させていただきます。温故知新。

(表紙写真)

**編集あとがき**

緑丘中学校野球部員らを乗せたマイクロバスの衝突事故は、大きな衝撃と悲しみをもたらしました。亡くなられた山崎粹生君、蟹由晃一君のご冥福を心からお祈りし、ご遺族の皆さまにお悔やみ申し上げますとともに、負傷された生徒、保護者の皆さまにお見舞いを申し上げます。部活における移手段はどうあるべきか。のと里山海道の4車線化を含めた安全対策の促進をいかに図るか。市の課題や県への要望なども含め、議会としても二度と悲劇を繰り返さないための検討課題はたくさんあります。市議会だよりはこのような議会の取り組みも市民の皆さまに伝えていきます。

編集委員 北野 進

ご案内

第5回珠洲市議会  
12月定例会



本会議日時	議事内容
6日(火) 15時～	開会、市長提出議案一括上程・説明、請願常任委員会付託
13日(火) 10時～	質疑・一般質問、議案等常任委員会付託
16日(金) 15時～	各常任委員会審査結果報告、質疑・討論、議案・請願等採択、閉会

お知らせコーナー

**傍聴してみませんか**  
本会議は公開され、自由に傍聴できます。本会議当日に、市役所西側5階で受付してください。

インターネットでも  
視聴できます

珠洲市議会では、本会議の審議状況を市のホームページに映像配信（生中継）しています。また、過去の議会の録画映像も配信しています。

珠洲市議会ホームページ

身近で開かれた市議会を目指し、ホームページで様々な情報を公開しています。市議会の役割や仕組み、議員や委員会の紹介、議会日程、議会だよりなど掲載しています。ぜひご利用ください。

珠洲市議会

委員	委員長	委員
北野	向山	
三益	忠秀	
三		
三		
北野		
三		
進		
進		
北野		
進		

議会だより編集委員会